

第Ⅰ期・Ⅱ期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

令和2年2月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(回転円板法)
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	25 m ³ /日
埋立地面積	42,900 m ²	汚水調整池容量	1,200 m ³
埋立地容量	391,955 m ³	目標	BOD 30 mg/ℓ
技術管理者名	金澤 亮	水質	S S 60 mg/ℓ

埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物(可燃・不燃混合)		0 t	0 m ³
あわせ産廃	ばいじん(下水汚泥焼却)	0 t	0 m ³
	汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	0 t	0 m ³

第Ⅰ期・Ⅱ期埋立処分場残余容量(平成30年度末)

505 m³

堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日			
○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			

点検結果 ○：異常なし ×：異常あり ●：改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

- ・窒素濃度高いため、施設内循環開始(2/25~)

地下水及び放流水の水質測定結果

(単位 / PH:— 大腸菌群数:個/cmf

ダイオキシン類:pg-TEQ/L その他の項目:mg/L)

分析項目	放流水			地下水		
	放流水	地下水A	地下水B	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)	7.4	/	/	/	/	/
生物化学的酸素要求量(BOD)	4.5	/	/	/	/	/
浮遊物質(SS)	4.8	/	/	/	/	/
大腸菌群数	104	/	/	/	/	/
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)	/	/	/	/	/	/
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	/	/	/	/	/	/
フェノール類	/	/	/	/	/	/
銅	/	/	/	/	/	/
亜鉛	/	/	/	/	/	/
溶解性鉄	/	/	/	/	/	/
溶解性マンガン	/	/	/	/	/	/
クロム	/	/	/	/	/	/
ホウ素及びその化合物	/	/	/	/	/	/
フッ素及びその化合物	/	/	/	/	/	/
アモニウム化合物、亜硝酸及び硝酸化合物	/	/	/	/	/	/
窒素	28.2	/	/	/	/	/
磷	0.1	/	/	/	/	/
アルキル水銀化合物	/	/	/	/	/	/
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	/	/	/	/	/	/
総水銀	/	/	/	/	/	/
カドミウム及びその化合物	/	/	/	/	/	/
鉛及びその化合物	/	/	/	/	/	/
有機燐化合物	/	/	/	/	/	/
六価クロム化合物	/	/	/	/	/	/
砒素及びその化合物	/	/	/	/	/	/
					濁水	227

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第Ⅱ期埋立地Bルート側、地下水Bは第Ⅰ期埋立地側側の設置井戸より採水。 採水日 令和2年2月28日

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

第三期一般廃棄物最終処分場維持管理記録票

令和2年2月

設置主体名	美幌町	汚水処理方式	生物処理(接触曝気法)
施設名	美幌町廃棄物処理場	汚水処理能力	30 m ³ /日
埋立地面積	16,240 m ²	汚水調整槽容量	2,877.4 m ³
埋立地容量	97,000 m ³	目標	BOD 20 mg/ℓ
技術管理者名	金澤 亮	水質	S S 30 mg/ℓ

埋め立てた廃棄物の種類及び数量

一般廃棄物(可燃・不燃混合)	327 t	133 m ³
あわせ産廃	ばいじん(下水汚泥焼却)	0 t
	汚泥(下水汚泥、無機汚泥)	57 t

第三期埋立処分場残余容量(平成30年度末)

76,359 m³

堰堤、遮水工、調整池、集水配管等の防凍、侵入防止柵、立札及び浸出液処理設備点検状況

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日			
○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			

点検結果 ○:異常なし ×:異常あり ●:改修済

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等

地下水及び放流水の水質測定結果

(単位 / PH:— 大腸菌群数:個/cmf

ダイオキシン類:pg-TEQ/L その他の項目:mg/L)

分析項目	放流水			地下水		
	放流水	地下水A	地下水B	放流水	地下水A	地下水B
水素指数(PH)	7.7	/	/			
生物化学的酸素要求量(BOD)	6.0	/	/			
浮遊物質(SS)	0.2	/	/			
大腸菌群数	45	/	/			
n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)	/	/	/			
n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	/	/	/			
フェノール類	/	/	/			
銅	/	/	/			
亜鉛	/	/	/			
溶解性鉄	/	/	/			
溶解性マンガン	/	/	/			
クロム	/	/	/			
ホウ素及びその化合物	/	/	/			
フッ素及びその化合物	/	/	/			
アモニウム化合物、亜硝酸及び硝酸化合物	/	/	/			
窒素	5.6	/	/			
磷	0.1	/	/			
アルキル水銀化合物	/	/	/			
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	/	/	/			
総水銀	/	/	/			
カドミウム及びその化合物	/	/	/			
鉛及びその化合物	/	/	/			
有機燐化合物	/	/	/			
六価クロム化合物	/	/	/			
砒素及びその化合物	/	/	/			
					濁水	19.6

備考1) 放流水の水質測定結果において、複数回実施している項目は月間平均値を記載。

備考2) 地下水Aは第三期埋立地上流側、地下水Bは第三期埋立地下流側の設置井戸より採水。 採水日 令和2年2月28日

◎その他特記及び異常時に措置を講じた年月日及び内容等